



戸来 伝
(柗の会)

農業用施設の長寿命化活動に支援を

国の制度を活用しながら検討したい

議員 農村地域の多面的機能を維持するための共同作業を金銭面で支援する政策として、国の多面的機能支払交付金制度がある。市ではこの制度により農地の維持や資源の向上など、地域資源の質的向上を図る共同作業に取り組んでいる。老朽化した水路の補修や更新、素掘り水路からコンクリート水路への更新、農道の舗装などを支援するため、施設の長寿命化のための活動にも範囲を広げる考えは。

化の取り組みの要望があることは認識していますので、取り組み組織等の意向を確認し、国の制度を活用しながら検討したいと考えています。



農業・農村の持つ機能を守ろう

議員 パワーステップ前の交差点にある歩道橋と歩道は安全に利用されているのか。

民生部長 南小学校や十和田中学校の児童生徒は、各校の決まりに従い安全に利用しています。利用状況の調査は、県も市も行ったことがありません。

議員 高齢者の運転免許の自主返納を進める上での課題は。

民生部長 かわりの交通手段の確保が課題です。市街地循環バスの実証運行や国の方針等とあわせ、拡充に努めます。

議員 市民交流プラザのトイレにハンドドライヤーがないのはなぜか。

民生部長 子供が気軽に利用できる施設であり、子供の中には使用音を怖がることもあるため設置しませんでした。

市独自のAEDマップの作成を

まずは既存の全国AEDマップの活用を図りたい



堰野端 展雄
(自民公明クラブ)

議員 可燃ごみの約40%を占める生ごみをどう処理していくのかがごみの減量化につながる。生ごみの水切りを徹底させるよう周知しては。

民生部長 生ごみの70%が水分と言われ、生ごみの水切りはごみの減量に非常に有効です。今後も広報やホームページ等で周知していき、イベント時における水切りグッズの配布や水切り器の作り方の紹介等、水切りの徹底について積極的に啓発していきます。

議員 多くの場所にAEDが設置されるようになったが、市民はその場所を把握していない状況にある。効果的な配備に向け、市独自のAEDマップを作成する考えは。

健康福祉部長 日本救急医療財団が運営している全国AEDマップがありますので、まずはその周知を図るとともに、マップへの情報登録を民間施設に呼びかけていきたいと考えています。

発を徹底する考えは。健康福祉部長 「Q助」は、救急車を呼ぶ目安を家庭で自己判断できるように状況の緊急度を判断できるアプリとして消防庁が作成したものです。庁内にポスターを掲示して周知を図ってききましたが、今後は広報・ホームページとわだD E子育て応援ナビに掲載していきます。

青森県小児救急電話相談は、夜間の急な子供の病気等への対応について電話で相談できる事業です。市では、乳児の家庭訪問の際に説明したり、子どもすこやか手帳に掲載したりしていますが、今後も機会を捉えてさらに周知していきたくと考えています。



便利なサービスを利用しよう